

## 3号機の後継機決定について

北海道国際航空株式会社(社長:滝澤 進、本社:北海道札幌市)は、弊社の3号機として主に旭川=東京線にて運航中であるB767-200型機(JA8251)のリースが期間満了(2005年6月)となることから、今般、この後継機について導入を決定し、準備を進めることと致しました。

なお、詳細は下記の通りです。

### 記

1. 後継機材 ポーイング式737-400型
2. 選定理由 今後の当社路線展開上、もっとも適切なサイズであること。  
運航コストの低減が可能な機材であること。  
運航体制や整備体制について、現在弊社と提携関係にあるANAグループのスケールメリットを享受できる機材であること。
3. 導入時期 2005年6月中旬を予定
4. 運航路線 主に旭川=東京路線を予定

本リリースに関するお問い合わせ ADO札幌本社 青山、北原 電話011-252-5533

## 【別紙】

## Boeing 737 - 400 型機について

## 1. 概要

- 1988年10月1日に就航以来、計440機以上が製造され、2000年2月に製造を終了している。
- B737-300型機をベースに胴体を延長し、B727の後継機市場と、エアバス社のA320への対抗として投入されたもの。
- 従前のB737の座席数は120～130席が最大であったが、このタイプでは最大で170席までの設定が可能となった。
- 日本では現在、JALグループ(JEX/JTA)、ANAグループ(ANK)、SNAが運航中。

## 2. 諸元

航空機型式	Boeing 737 - 400 型機
エンジン型式	CMF56 - 3C - 1
離陸出力	10,680 Kg × 2基
座席数	150 ~ 170席
全幅	28.9m
全長	36.4m
最大離陸重量	63t
巡航速度	マッハ0.74
航続距離	5,370 Km
離陸滑走路長	1,990m
着陸滑走路長	1,480m



B737-400 同型機